

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	創業者支援に向けた取組み
取組み内容	【動機（経緯）】 ・金融機関に求められる“起業・創業から立ち上がりまでの一貫した資金支援”を実現し地域産業の育成を図る観点から、平成26年10月22日より、外部機関や関連会社との提携や連携を通じた創業者支援への取組みを強化。 【取組み内容、期待できる効果】 ①「NCB創業応援サロン」の開設及びビジネスサポートセンター（以下、BSC）への創業カウンセラーの配置 ・創業を目指すお客さまを対象に、創業時の課題に関する相談に応じ、創業して間もない起業家の方に、起業家同士で情報交換を図る「場」を提供するNCB創業応援サロンを平成28年2月に開設した。また、創業支援の専任者である創業カウンセラーを法人リテール営業拠点であるBSC福岡に9名、BSC北九州に3名配置し（平成28年6月末現在）、創業前の事業計画策定から、創業時の資金調達、創業後の経営相談に至るまでの相談受付体制を構築した。 ②専門機関との業務連携 ・創業分野でノウハウを有する日本政策金融公庫と中小企業融資に関する豊富な経験等を持つ福岡県信用保証協会、当行グループ会社であるNCBリサーチ＆コンサルティングと「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」を締結。この締結により、当行グループと日本政策金融公庫、福岡県信用保証協会が、業務特性を活かしながら、ノウハウを補完・共有することで、創業の準備段階から創業時の資金調達、創業後の事業安定に至るまで、質の高いサポートをワンストップで提供することが可能となった。 ③九州リースサービスとの業務提携 ・九州リースサービスと業務提携を行い、同社のファイナンス・リース商品「NCB創業支援リース」の審査申込の媒介業務を開始。この業務提携により、創業時の資金ニーズに対して、融資だけでなくリース商品での提案が可能となった。 ④福岡市との連携による個別相談会の開催 ・平成26年10月にオープンした福岡市運営の「スタートアップカフェ」においても、創業カウンセラーによる個別相談会を毎月開催している。 以上の取組みを行い、創業支援を目指すお客さまへの支援を図っている。

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	大学TLO（技術移転機関）と連携したファンドの設立
取組み内容	【動機（経緯）】 ・地方の大学では、保有するシーズの事業化において、中央の大学と比較した際、ベンチャーキャピタルが少ないなど資金調達面での課題がある。この課題の解決を図るべく当行と(株)産学連携機構九州（承認 TLO の認可有）が主体となり、九州内大学発シーズの事業化を支援するファンドを設立。 【取組み内容、期待できる効果】 ・当該ファンドは、地域の事業会社等からの出資を受け、大学が有する研究成果等の知的財産と、(株)産学連携機構九州や地域の事業会社及び当行が有するさまざまなノウハウを融合した形式の産学連携ベンチャーファンドである。基礎的な発明と事業化の間にあるといわれるギャップ（死の谷）を越えることができるよう、事業化前のプレ投資から成長段階まで一気通貫でハンズオン支援することが可能。本ファンドを通じ、大学の知財を活用した新産業を育成することで、優秀な人材が働くことが出来る雇用の場が創出され、地域社会の活性化に繋がると考える。

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	海外ビジネス支援への取組み
取組み内容	【取組みに至った経緯、解決を図る必要があった状況等】 ・文房具小売を事業の柱とするA社は、訪日韓国人観光客のインバウンド需要を取り込むため、メイドインジャパンの文房具を中心に取扱う免税店の新規出店を検討していた。 【取組みの具体的内容】 ・支店担当者は、A社に役立つ情報を提供し、同社にとって初めての『国際ビジネス展開』をサポートできればと考え、当行グループ会社のNCB リサーチ&コンサルティング 国際コンサル室（以下、R&C）を紹介した。R&CはA社と面談を行い、インバウンド消費に関する情報提供や主催するセミナーの案内など検討初期段階のサポートを行った。さらに、R&Cはスムーズに免税店設立手続きが進むよう、サポート企業であるコンサルティング会社B社を紹介し、A社はB社とコンサルティング契約を締結した。 【取組みの成果】 ・A社はB社より免税店オープンにあたっての留意点や出店地域選定のアドバイスを受け、平成28年1月に韓国からの訪日客が多い地域に免税店をオープンした。今後は、本格的なチェーン展開を見据え、当行ソウル駐在員事務所を通じて紹介した韓国の旅行会社と連携し、免税店のプロモーションを計画中。 ・また、A社はもう一つの事業の柱である食品事業について、韓国での小売店展開の検討を開始した。R&Cは韓国に詳しいコンサルティング会社C社を紹介。今後、A社は、C社を通じた事業化調査や当行ソウル駐在員事務所によるA社の社長の現地視察アテンド結果を踏まえ、韓国進出の判断を行う予定。 これらの当行グループの総合力を活かした全面的なサポートにより、A社は主力事業において、国際ビジネスで新たな展開を迎えることができた。

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	経営権と財産権の分離を目的とした自社株対策支援
取組内容	【取組みに至った経緯、解決を図る必要があった状況等】 ・ A社（売上高 64 億円、純資産 10 億円）は家具・寝具販売業を営む。ここ数年売上及び利益が大幅に増加し、それに伴い自社株評価が上昇傾向にあった。 【取組みの具体的内容】 ・ 当行は、A社に当行主催の事業承継セミナーへの参加を案内した。セミナー参加後、当行は継続的にフォロー訪問を行い、代表者の事業承継に関する顕在ニーズを把握した。A社社長のニーズは、「株価対策」、「A社に勤務する息子2人へのスムーズな承継」、及び「A社の議決権について一定数を確保しておきたい（社長の自社株持分割合は95%超）」であり、そのニーズに対応するため、持株会社の活用を提案した。 <提案内容> ① 社長及び息子2人を株主とする法人を新設。出資割合は息子2人の割合を95%とする一方、社長の株式については1株あたりの議決権を通常の100倍とする事で、社長に84%の議決権割合を残し、会社の権限を社長が維持する仕組みとする。 ② 社長及び息子2人が保有するA社株式を新設法人にて買い取り、新設法人をA社の持株会社とする。 <対策前> <ステップ①持株会社の設立> <ステップ②持株会社によるA社株式の買取り> 【取組みの成果】 ・ 2つの提案により、社長のニーズに沿った事業承継を実現することができた。

銀行名	西日本シティ銀行																																																														
タイトル	地方創生への取組み																																																														
取組み内容	【動機（経緯）】 ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けて、地方自治体では「地方版総合戦略」の策定及びその推進が求められている。当行は、そのサポートも含めて、積極的に地方創生に取り組む観点から、態勢を強化した。 【取組み内容、期待できる効果】 1. 地方公共団体の「地方創生」に対する取組み支援 ・平成 27 年 6 月以降、10 の地方公共団体との間で「地方創生に関する包括協定」を締結した。 ■包括協定締結状況（締結順） <table><tr><td></td><td>自治体名</td><td>締結日</td><td></td><td>自治体名</td><td>締結日</td></tr><tr><td>①</td><td>福津市</td><td>平成 27 年 6 月 15 日</td><td>⑥</td><td>みやこ町</td><td>平成 27 年 12 月 24 日</td></tr><tr><td>②</td><td>須恵町</td><td>平成 27 年 8 月 6 日</td><td>⑦</td><td>久留米市</td><td>平成 28 年 2 月 12 日</td></tr><tr><td>③</td><td>中間市</td><td>平成 27 年 12 月 18 日</td><td>⑧</td><td>日田市</td><td>平成 28 年 2 月 12 日</td></tr><tr><td>④</td><td>福智町</td><td>平成 27 年 12 月 21 日</td><td>⑨</td><td>糸田町</td><td>平成 28 年 2 月 24 日</td></tr><tr><td>⑤</td><td>福岡県</td><td>平成 27 年 12 月 22 日</td><td>⑩</td><td>那珂川町</td><td>平成 28 年 3 月 10 日</td></tr></table> ※締結している地方自治体において、新たに住宅を取得する場合の住宅ローン金利を、全期間 0.1%優遇。 2. インバウンドビジネス支援への取組み ・外貨買取サービスができる「自動外貨両替機」を 4 台、外貨から円貨への両替、円貨から外貨への両替の双方向で利用できる「売買双方向型自動外貨両替機」を 1 台設置した。 ・あわせて、ハード面に加えソフト面でも地域の観光振興に取り組むため、インバウンド観光についての最新情報を提供する各種セミナーを開催した。 ■自動両替機設置 <table><tr><td>設置時期</td><td>場所</td><td>台数</td></tr><tr><td>平成 26 年 9 月</td><td>太宰府（太宰府市）</td><td>1</td></tr><tr><td>平成 27 年 7 月</td><td>中央ふ頭クルーズセンター（福岡市）</td><td>1</td></tr><tr><td>平成 27 年 9 月</td><td>キャナルシティ博多（福岡市）</td><td>1</td></tr><tr><td>平成 27 年 10 月</td><td>太宰府（太宰府市）増設</td><td>1</td></tr><tr><td>平成 28 年 6 月</td><td>天神地下街（福岡市）※</td><td>1</td></tr></table> ※「売買双方向型自動外貨両替機」 ■セミナー <table><tr><td>開催時期</td><td>内容</td></tr><tr><td>平成 27 年 9 月</td><td>太宰府観光協会・太宰府市商工会との「中国語・文化セミナー」</td></tr><tr><td>平成 28 年 1 月</td><td>商業施設「キャナルシティ博多」との「韓国人旅行客接客セミナー」</td></tr><tr><td>平成 28 年 2 月</td><td>福岡市等との「商店街インバウンド対策セミナー」</td></tr></table>		自治体名	締結日		自治体名	締結日	①	福津市	平成 27 年 6 月 15 日	⑥	みやこ町	平成 27 年 12 月 24 日	②	須恵町	平成 27 年 8 月 6 日	⑦	久留米市	平成 28 年 2 月 12 日	③	中間市	平成 27 年 12 月 18 日	⑧	日田市	平成 28 年 2 月 12 日	④	福智町	平成 27 年 12 月 21 日	⑨	糸田町	平成 28 年 2 月 24 日	⑤	福岡県	平成 27 年 12 月 22 日	⑩	那珂川町	平成 28 年 3 月 10 日	設置時期	場所	台数	平成 26 年 9 月	太宰府（太宰府市）	1	平成 27 年 7 月	中央ふ頭クルーズセンター（福岡市）	1	平成 27 年 9 月	キャナルシティ博多（福岡市）	1	平成 27 年 10 月	太宰府（太宰府市）増設	1	平成 28 年 6 月	天神地下街（福岡市）※	1	開催時期	内容	平成 27 年 9 月	太宰府観光協会・太宰府市商工会との「中国語・文化セミナー」	平成 28 年 1 月	商業施設「キャナルシティ博多」との「韓国人旅行客接客セミナー」	平成 28 年 2 月	福岡市等との「商店街インバウンド対策セミナー」
		自治体名	締結日		自治体名	締結日																																																									
	①	福津市	平成 27 年 6 月 15 日	⑥	みやこ町	平成 27 年 12 月 24 日																																																									
	②	須恵町	平成 27 年 8 月 6 日	⑦	久留米市	平成 28 年 2 月 12 日																																																									
	③	中間市	平成 27 年 12 月 18 日	⑧	日田市	平成 28 年 2 月 12 日																																																									
	④	福智町	平成 27 年 12 月 21 日	⑨	糸田町	平成 28 年 2 月 24 日																																																									
	⑤	福岡県	平成 27 年 12 月 22 日	⑩	那珂川町	平成 28 年 3 月 10 日																																																									
	設置時期	場所	台数																																																												
	平成 26 年 9 月	太宰府（太宰府市）	1																																																												
	平成 27 年 7 月	中央ふ頭クルーズセンター（福岡市）	1																																																												
平成 27 年 9 月	キャナルシティ博多（福岡市）	1																																																													
平成 27 年 10 月	太宰府（太宰府市）増設	1																																																													
平成 28 年 6 月	天神地下街（福岡市）※	1																																																													
開催時期	内容																																																														
平成 27 年 9 月	太宰府観光協会・太宰府市商工会との「中国語・文化セミナー」																																																														
平成 28 年 1 月	商業施設「キャナルシティ博多」との「韓国人旅行客接客セミナー」																																																														
平成 28 年 2 月	福岡市等との「商店街インバウンド対策セミナー」																																																														

- ・インバウンドビジネス支援に対して、ハード面に加えソフト面でも地域の観光振興を図ることができた。

3. ローン商品の取扱い

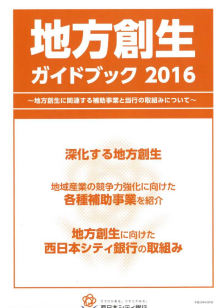
開始時期	内容
平成 27 年 5 月	空き家の問題解決に向け、空き家の解体費用に対応する「NCB 空き家解体ローン」
平成 27 年 6 月	地元企業の雇用増加や新規事業展開等を支援する「NCB 地域創生応援ローン」
平成 27 年 7 月	各地方自治体が積極的に実施している移住・定住促進事業を支援する「移住促進応援ローン」
平成 27 年 11 月	北九州市との「産業振興分野に関する連携協定」に基づき、北九州市における住宅市場の活性化及び移住・定住促進のため、住宅ローン及びリフォームローンの金利を 0.1%優遇
平成 28 年 5 月	天神のまちづくりに貢献するため福岡市の「天神ビッグバン」の一環である魅力あるデザイン性に優れたビルにインセンティブを付与する専用融資商品「NCB 天神ビッグバン応援ローン」（「天神 BBB（ビッグバンボーナス）」の一つ）

4. セミナーの開催

- ・平成 27 年 8 月に、創業者を対象に創業後の経営を軌道に乗せることを目的とした「創業支援セミナー」を開催。

5. 「地方創生ガイドブック 2016」の発刊

- ・平成 28 年 4 月、政府が平成 27 年 12 月に閣議決定した「まち・ひと・しごと創生長期戦略（2015 改訂版）」及び「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に基づき、多岐に亘って実施される国の補助事業について、お客さまの視点から 8 つのテーマで整理し、「地方創生」関連の各種補助事業や当行の地方創生への取組みについて、お客さまにとって"わかりやすく"整理した「地方創生ガイドブック 2016」を発刊した。



6. その他の取組み

- ・平成 27 年 9 月に、地方創生への取組み支援の一環として、預金キャンペーンの商品に「ご当地特産品」を採用し、当選者の方にプレゼント。
- ・平成 28 年 2 月に、福岡県と包括連携協定を記念して、福岡県内店舗限定で「早春！いちごキャンペーン」を実施し、福岡県の人気特産品「博多あまおう」にちなんだ商品をプレゼント。

当行は、地域金融機関として地元の活性化のため、これまで培ってきた知見やノウハウ、さらには当行グループが有する金融サービス機能を発揮し、地方創生の実現に向け取り組んでいる。

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	地域の祭りへの参加
取組内容	【動機（経緯）】 ・ 中計施策「地域との共栄」の一環として、当行の地元で開催される福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり（以下「博多どんたく」）」に参加し、地域の伝統文化の継承と地域振興を図る。 【取組み内容】 ・ 当行は、「博多どんたく」のパレードに役員、新入行員を中心にパレード隊を編成し、参加した。 ・ 博多駅前の本店前に演舞台を設置し、当行の役職員、お取引先、市民の皆さまによるさまざまな演技を披露した。 【取組みの成果】 ・ 平成 28 年は「つなげよう、一人ひとりの心の“輪”」をテーマに参加し、当行と地元のお客さまが輪になって地元を盛り上げる契機とすることができた。 ・ また、「博多どんたく」への参加を通じて、当行の元気を発信することで、熊本・大分で発生した地震により被災された皆さまの復興に寄与することができた。    

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	「ワンクmeets博多人形展」の開催
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ 中計施策「地域との共栄」の一環として、当行のキャラクター「ワンク」の誕生 10 周年を機に、当行の地元博多の伝統工芸である博多人形の新しい展開、発展に寄与することを目的とした、「ワンクmeets博多人形展」を開催した。 【取組み内容】 ・ 当行キャラクター「ワンク」をモチーフとした素焼きの博多人形に、プロの人形師はもちろん、地域の小学生、当行行員が絵付けを行い、「ワンク」110 匹を一堂に集めた展示会を開催した。 ・ また、最新の映像技術で大きな博多人形「ワンク」に映像を投影するプロジェクションマッピングショーも開催した。 【取組みの成果】 ・ この取組みを通じて、多くのお客さまに博多の文化を身近に感じていただくことができた。     

銀行名	西日本シティ銀行																																		
タイトル	「アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA」の開催																																		
取組内容	【動機（経緯）】 ・地方創生の実現への取組みの一環として、当行と公益財団法人九州経済調査協会との共催で、連続セミナー「アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA」を開催した。 【取組みの内容】 ・福岡のゲートウェイ機能（インフラ）の歴史や今後の福岡の経済やまちづくりの発展の方向性などをテーマとしたセミナーを平成 27 年 3 月から 9 月の間で、全 7 回開催した。 【取組みの成果】 ・全 7 回で 651 名の方に参加いただいた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>開催時期</th><th>人数</th><th>テーマ・講師</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>平成 27 年 3 月</td><td>36 名</td><td>「福岡の発展に寄与してきた福岡空港～福岡空港の歩み～」 馬場 耕一 氏（福岡空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>平成 27 年 4 月</td><td>60 名</td><td>「グローバル時代に対応する福岡空港」 垣阪 紀之 氏（国土交通省大阪航空局福岡空港事務所 空港長）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>平成 27 年 5 月</td><td>52 名</td><td>「アジアとの交流を支えてきた博多港」 大東 光一 氏（博多港ふ頭株式会社 代表取締役社長）</td></tr> <tr> <td>4</td><td>平成 27 年 6 月</td><td>54 名</td><td>「日本の対アジア拠点港を目指す博多港」 石原 洋 氏（福岡市港湾局 理事）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>平成 27 年 7 月</td><td>58 名</td><td>「九州・アジアの玄関口である博多駅とその周辺のまちづくり」 山根 久資 氏（九州旅客鉄道株式会社 博多駅 駅長） 原楨 義之 氏（九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部博多まちづくり推進室 室長）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>平成 27 年 8 月</td><td>70 名</td><td>「アジアのビジネス拠点をを目指す天神」 高崎 繁行 氏（西日本鉄道株式会社 取締役専務執行役員）</td></tr> <tr> <td>7</td><td>平成 27 年 9 月</td><td>321 名</td><td> 【基調講演】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA 坂井 猛 氏（国立大学法人九州大学工学部建築学科 教授） 【パネルディスカッション】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA ・コーディネーター 坂井 猛 氏 ・パネリスト 鈴木 弘之 氏（国土交通省九州地方整備局 局長） 麻生 泰 氏（福岡地域戦略推進協議会 会長） 久保田 勇夫（西日本シティ銀行 取締役会長） </td></tr> </tbody> </table>				開催時期	人数	テーマ・講師	1	平成 27 年 3 月	36 名	「福岡の発展に寄与してきた福岡空港～福岡空港の歩み～」 馬場 耕一 氏（福岡空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長）	2	平成 27 年 4 月	60 名	「グローバル時代に対応する福岡空港」 垣阪 紀之 氏（国土交通省大阪航空局福岡空港事務所 空港長）	3	平成 27 年 5 月	52 名	「アジアとの交流を支えてきた博多港」 大東 光一 氏（博多港ふ頭株式会社 代表取締役社長）	4	平成 27 年 6 月	54 名	「日本の対アジア拠点港を目指す博多港」 石原 洋 氏（福岡市港湾局 理事）	5	平成 27 年 7 月	58 名	「九州・アジアの玄関口である博多駅とその周辺のまちづくり」 山根 久資 氏（九州旅客鉄道株式会社 博多駅 駅長） 原楨 義之 氏（九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部博多まちづくり推進室 室長）	6	平成 27 年 8 月	70 名	「アジアのビジネス拠点をを目指す天神」 高崎 繁行 氏（西日本鉄道株式会社 取締役専務執行役員）	7	平成 27 年 9 月	321 名	【基調講演】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA 坂井 猛 氏（国立大学法人九州大学工学部建築学科 教授） 【パネルディスカッション】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA ・コーディネーター 坂井 猛 氏 ・パネリスト 鈴木 弘之 氏（国土交通省九州地方整備局 局長） 麻生 泰 氏（福岡地域戦略推進協議会 会長） 久保田 勇夫（西日本シティ銀行 取締役会長）
	開催時期	人数	テーマ・講師																																
1	平成 27 年 3 月	36 名	「福岡の発展に寄与してきた福岡空港～福岡空港の歩み～」 馬場 耕一 氏（福岡空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長）																																
2	平成 27 年 4 月	60 名	「グローバル時代に対応する福岡空港」 垣阪 紀之 氏（国土交通省大阪航空局福岡空港事務所 空港長）																																
3	平成 27 年 5 月	52 名	「アジアとの交流を支えてきた博多港」 大東 光一 氏（博多港ふ頭株式会社 代表取締役社長）																																
4	平成 27 年 6 月	54 名	「日本の対アジア拠点港を目指す博多港」 石原 洋 氏（福岡市港湾局 理事）																																
5	平成 27 年 7 月	58 名	「九州・アジアの玄関口である博多駅とその周辺のまちづくり」 山根 久資 氏（九州旅客鉄道株式会社 博多駅 駅長） 原楨 義之 氏（九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部博多まちづくり推進室 室長）																																
6	平成 27 年 8 月	70 名	「アジアのビジネス拠点をを目指す天神」 高崎 繁行 氏（西日本鉄道株式会社 取締役専務執行役員）																																
7	平成 27 年 9 月	321 名	【基調講演】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA 坂井 猛 氏（国立大学法人九州大学工学部建築学科 教授） 【パネルディスカッション】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA ・コーディネーター 坂井 猛 氏 ・パネリスト 鈴木 弘之 氏（国土交通省九州地方整備局 局長） 麻生 泰 氏（福岡地域戦略推進協議会 会長） 久保田 勇夫（西日本シティ銀行 取締役会長）																																